

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 4月 26日

団体名 三土市倶楽部

代表者 和泉 秀明

構成員 17人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。岡崎市が進める中心市街地活性化施策「くるわ戦略」上にある康生・シビコ西広場。その木立のある公共空間を活用し、ステージパフォーマンス、地域産品などの販売を展開する現代版“楽市楽座”。世代を超える緩やかな交流の場を設け、都心のオアシスとして高齢者、障がい者、外国人を含めた広い世代による新たな賑わいを創出し、地域社会のコミュニティ向上を図ることによってまちづくりを推進することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和6 4月～7月	シビコ西広場	地域高齢者はじめ 福祉施設利用者、 市民活動団体出演者	のべ 1,230名	各月第三土曜日(4/20、5/18、6/15、7/20)に開催。障がいをお持ちのミュージシャンや外国人ダンサーの出演・出店、母の日ワークショップや氷の彫刻を実施。
令和6 9月～11月	シビコ西広場	近隣住民	のべ 250名	各月第三曜日(9/21、10/19、11/16)に予定するも荒天の影響で11月のみの開催。岡崎ゆかりのプロ演奏家、ゴスペルステージなど実施。
令和6年4月 ～令和7年3月	シビコ西広場	近隣住民	のべ350名	イベント開催に合わせ学区の資源回収ミニ拠点として古紙回収を行った。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

岡崎市福祉協議会、岡崎市国際交流協会のご協力を得て、障がいをお持ちの方や外国出身の方の出演・出店が実現し、来場者への福祉・異国文化への理解を深めることができた。また、市民活動団体として活動されている団体や高齢者サークルの方々への出演・出店機会を設け、活動の幅やネットワークの拡大に寄与することができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

近隣住民、特に高齢者の方々が定期的に集まって情報交換される場として定着し、まちなかの高齢者居場所づくりができた。さらに障がい福祉や異国文化に触れ、それぞれの立場を理解いただけた。